

ヒメコガシラミズムシ

コウチュウ目コガシラミズムシ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

Haliplus (Liaphlus) ovalis Sharp

選定理由

池沼や湿地、水田などの生息環境が、農業使用による水質汚染などのために全国的に悪化している。県内の分布も局所的であり、生息環境の悪化が懸念される。

形態

体長4.0~4.3mm。体型は長楕円形で体色は黄褐色。上翅合線に沿った黒色部は細く、合着した中央の紋は円形であり大きくならず、基部の横紋を欠く。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

加賀市、小松市、能美市、金沢市、志賀町、珠洲市に局所的に生息する。

生態

8~10月に成虫が確認されている。

生息地の条件

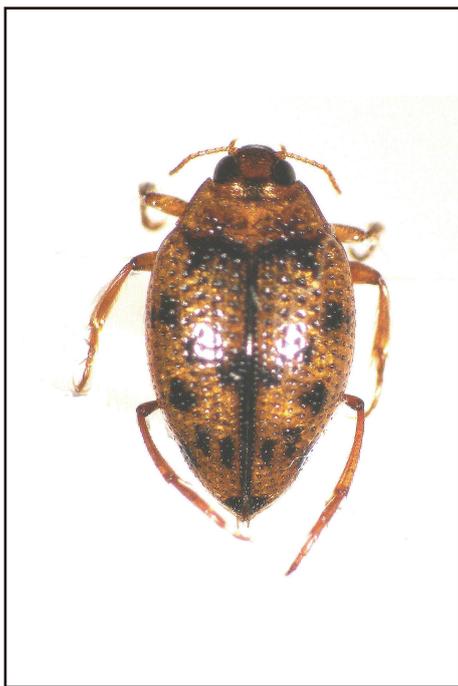
平野部~丘陵部の水生植物が豊富な池沼、湿地や放棄水田に生息する。

生存の危機

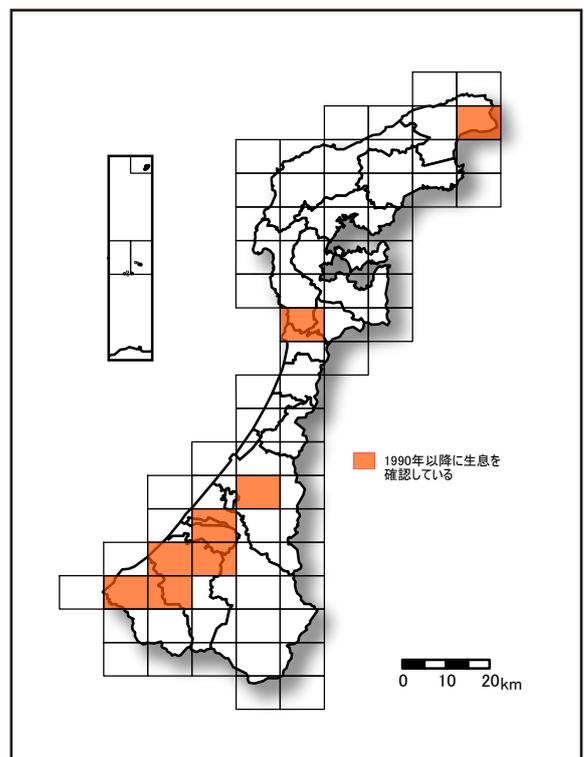
池沼、湿地の開発や管理放棄、圃場整備、水質汚染、放棄水田の植生遷移、外来種の侵入が脅威となっている。ため池の維持管理の継続、放棄水田の湛水化が保全上重要である。加賀市片野鴨池では、オオクチバス、アメリカザリガニが侵入しているため、外来種の駆除および侵入できない区域を設けるなどの保全策が必要である。(A, B, C)

参考文献

- 佐藤正孝 1984. 日本産水棲甲虫類の分類学的覚え書 I. 甲虫ニュース, (65) : 1-4.
中根猛彦 1985. 日本産ヒメコガシラミズムシ属の種の再検討. 北九州の昆虫, 32(2) : 61-67.
中根猛彦 1987. 日本の甲虫 (80), こがしらみずむし科. 昆虫と自然, 22(11) : 26-30.



標本提供者: 富沢章



県内の分布